

■タウンミーティング概要(令和7年8月2日開催)

質問要旨	具体的内容	市長の発言
松戸のまちづくりについて	市全体のランドデザインを早く決める必要があるのではないか。市民参加がないがしろにされ箱物・床面積が追求されて、とにかくボリュームのあるものを作っていこうという風になっているのではないか。	本市のまちづくりのランドデザインを決めて、コミュニティ重視のまちをつくって、市民参加をとというのはその通りです。本市の各地域において課題はそれぞれありますが、それに一つ一つ対峙していくことが重視されているというのはおっしゃる通りだと思うので、参考にさせていただきたい。
交通利便性について	総合医療センターを中心として、国道6号線から繋がる計画道路があるが、北千葉道路などが注目されており、進捗が見られないがどうなっているのか。	北千葉道路は、現在市川松戸区間の一部において、国による直轄権限代行により事業が進められているところですが、松戸市はそこにつながる道路の整備や、周辺のまちづくりを担うことになります。県内にはたくさんの計画道路がありますが、未整備となっている路線も多くあり、整備時期についても未定となっている状況です。そのような状況を踏まえ、市においても必要なところは、考えていかななくてはいけないと思っています。
情報発信について	松戸の強みは交通利便性にあると考え、東京都や千葉県の東部・南部の方にアピールするなど、松戸市の既存のリソースを積極的にアピールしたかどうか。	本市に駅が多いことは間違いないです。そもそもまちづくりの考え方も違いがあり、例えば柏市は、柏駅に賑わいが集中しています。今はつくばエクスプレスもできたので、若干状況は変わりましたが、松戸市はそこにつながる道路の整備や、周辺のまちづくりを担うことになります。県内にはたくさんの計画道路がありますが、未整備となっている路線も多くあり、整備時期についても未定となっている状況です。そのような状況を踏まえ、市においても必要なところは、考えていかななくてはいけないと思っています。
市庁舎について	新庁舎の在り方を将来的な展望の元にしっかりと検討してほしい。	市庁舎に関しては、これからはデジタル社会なので、市役所に来なくてもインターネットやスマホで完結できるような形を目指し、できる限りコンパクトな市役所にしたいと思っています。例えば六実の方から来ると、他の市を通って来る必要があります。公共交通だと、市役所に来るのはハードルが高い。そうすると、やはり本市は各地域に支所があり、支所の機能が充実しているので、そういったところに分散をして、市役所に来なくてもいいような形にしていきたいと思っています。
市民が交流できる施設について	子育て中の世帯の方などの市民が集まり、交流できる場所、例えば図書館などが必要ではないか。	図書館ですが、おっしゃる通り、最近の主流はみんなで静かに過ごすことではなく、いろいろな会議をやったり、自由に過ごすことができるのがメインで、静かに本を読む部屋は別に用意されています。要はみんなが集まって、様々なことができる場所というのが、最近の主流の形になっているので、私もそのような場所、図書館はただ本を読むだけの場所ではなく、皆様が使ってもらいやすいように、少しのんびりできる場所や、みんなが集まって、暑いときであれば涼んで、話をする場所を作っていきたいと思っています。その構想については、今後具体的な話になりますが、どこに建てて、幾らぐらいかかるのか、これは行政の仕事であるので、そこはしっかり考えていく必要があると思っています。
子どもたちへの予算配分について	本市の財政が赤字であるため、子どもたちへの予算配分がしっかりできるのか不安に思っています。	本市の財政は決して豊かではないのが現状です。他の市と比べるとこれまで投資をしてこなかった影響もあり、税収は他の市などと比べると相当な範囲で低く、企業からの税収も少ない部分があるというのは事実です。ただ、やらなければならないことはたくさんあります。子どもたちへの投資について、本市は、他の市と比べ積極的に展開していることは間違いないのですが、どの世代に重点をおいて支援していくのかという点について、できる限り、各分野の専門的なご意見を聞けるようにしていきたいと考えています。
本市のソフト面のPRIについて	現場で困難を抱える先生方への支援などソフト面と、人についてのPRIに尽力していくべき。	本市は良い取り組みをしていますが認知不足でもったいない現状があり、そこはもっと発信をしなくてはいけないというのはおっしゃる通りで、注力したいと思っています。ソフト面での教員カウンセリング事業については、先生方の能力を伸ばしつつ負担を軽減をするというのは、今大きい方向性としてあります。本市も先生が担い手不足になっているのは間違いなく、今先生の業務が大変だということ、負担を軽減するためにメインのお子さんと向き合う以外の仕事に関しては、外注できるような職を増やしています。本市は、先生方のやりがい・やる気をどんどん出してもらいたいという思いで、引き続き千葉県とも連携していきます。
施策の優先順位について	子育て分野などで東京都の施策との差を感じるとともに、市庁舎建て替え・市立総合医療センターの問題など今一度優先順位をよく考えて進めていただきたい。	子育て支援については、東京都は突出していると感じています。潤沢な財源に基づいて、次々に施策を打ち出してくるという状況があり、千葉・神奈川・埼玉の3県で連携し、国に意見を伝えています。あまりに突出しすぎるとバランスが崩れて、ブラックホールに吸い込まれるように地方から東京に吸い寄せられていき、国のバランスが崩れてしまうということで、そこはある程度、国が基準を設けた上で、国策としても考えなくてはいけないと思っています。ただ、そのような状況下でも、本市としてできる限りのことをやっていきたいと思っています。それから、インフラ投資などの優先順位付けも、間もなく公表できる予定です。やらなければならないことがたくさんある。しかしながら、同時にできることには限界もありますので、それを少しずつ年数をずらしながら、どう、メリハリをつけてやるのかということが、私の公約の中でもあります。八潮市で下水管の破損による道路陥没がありましたが、あのような事故をが起きないように、優先順位付けを進めてまいります。
スポーツのまちづくりについて	北松戸駅にスポーツアリーナなどを建設して町おこしを行うなど、一番立地的に松戸は恵まれた場所なので頑張ってください。	おっしゃる通り北松戸は面白いと思っています。民間事業者との話の中で、松戸競輪は駅から近いので、駅と繋がれば魅力がある施設になり、スポーツのまちづくりという話で盛り上がったことがあります。ただ、そこはやはり松戸市単体ではなかなか難しい部分もありますので、民間事業者と連携しながらやりたいと思っています。あれだけの広大なスペースなので、少し夢のあることもやっていきたいと思っています。
タウンミーティングでの意見について	今日の話がきっかけで予算がついたりということはありませんか。	頂いた内容が市政運営に効果的かつ有益であれば、予算化をしようという話になりますし、予算をつけなくてもできることに関しては進めていきたいと思っています。大きな政策に関しては先ほどランドデザインの話もありましたが、私も考えてる部分とすり合わせながら実施していきたいと思っています。
矢切地区の土地利用について	矢切地区では土地利用を巡って極端に意見が分かれている。地区の今後の未来に向けて、考えていかななくてはいけない。	物流倉庫建設については、決定はしていません。ただおっしゃる通り、農業の担い手不足が非常に深刻だということも伝え聞いています。耕作放棄地で荒地地にするわけにいかないの、一律的に保全や開発を行うのではなく、相乗的に地域の振興に寄与するようにうまく調和を図りながら、進めていかなければいけないと思っています。